

中日会報

理事長あいさつ



理事長
伊藤仙游

令和七年度の期首を迎え、会員の皆様には益々

ご健勝の御事とお喜び申し上げます。また、昨年度皆様から頂戴致しました温かいご支援・ご尽力に、心から御礼申し上げます。

今冬は強力な寒波が度々襲来して、大雪の被害などもあり厳しい寒さに震えた年でした。その後、少しずつ春めいて、三月も後半に入ると急激に暖かくなりました。日本人の大好きな桜は、帳尻を合わせるかのように一斉に咲き誇り、あちこちで満開の艶姿を披露し始めます。

桜が日本人にとって特別な存在であり、それは弥生時代まで遡ることなど昨年も書いております

が、桜がこのように皆に好まれるのは、二~三輪から樹木全体へ開花するその艶やかな美しさと、一緒に散り始めるその散り際の潔さに、「もののあわれ」に通ずる感興を引き起こすためではないかと思います。平安時代から宮中で始まつた桜

の花見が、長い歴史の中で庶民へと広まり今に至る。書の世界と同様に、ここにも長い歴史と文化によって培われた伝統が息づいています。

昨年度本会は創立九十周年を迎えて、さまざまな記念事業を実施致しました。どの事業も皆様方の献身的なご尽力とご支援により、盛大に開催されましたことを心から御礼申し上げます。これからまた新たな一步を進め、ユネスコの無形文化遺産登録も視野に入れ、書文化の更なる発展と継承に努めましょう。

既に出品票等が送られたところですが、本会の中心の事業である第七十四回中日書道展が動き出しております。企画委員・事務局一同一致協力して努めてまいりますので、昨年にも増して多くのご出品を頂けますよう、心からお願い申し上げます。

少子高齢化や諸物価の上昇など様々な要因により、出品数や会員数が減少しております。中部日本書道会の運営を円滑に行うためにも、指導者の諸先生方はじめ会員の皆様には、是非ともご協力頂けますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝・ご発展を祈念申し上げ、稿を閉じ

会員登録部
名古屋事務局
〒450-0002 中村区名駅8丁目C900
ビル8階 (583) 199119
桑電 FAX (583) 199119
http://www.cn-sho.or.jp
info@cn-sho.or.jp
印 刷 株式会社 荒川印刷

目次

- 1 理事長あいさつ
令和六年度第四回理事会開催・
第一回評議員会開催
- 2 令和六年度 第四回理事会・評議員会
第七十五回記念中日書きぞめ展受賞の喜び
一宮支部創立七十周年
第七十五回記念中日書きぞめ講演会・祝賀懇談会
- 3 第七十四回中日書道展日程表
令和六年度行事予定表「四月～九月」
- 4 第七十六回毎日書道展
第十一回日展名古屋展入賞者
- 5 第四十五回読売書法展
第七十五回毎日書道展入賞者
- 6 支部だより
- 7 第七十五回記念中日書きぞめ展賞状授与
令和六年度第四回理事会内容（抜粋）
- 8 第七十五回記念中日書きぞめ展受賞の喜び
第七十五回記念中日書きぞめ展受賞者
- 9 第七十六回毎日書道展
当番審査員
- 10 第四十一回讀賣書法展
第十一回日展名古屋展入賞者
- 11 第七十六回毎日書道展
当番審査員
- 12 第七十五回記念中日書きぞめ展受賞者
- 13 第七十五回記念中日書きぞめ展賞状授与
令和六年度第四回理事会内容（抜粋）
- 14 第七十五回記念中日書きぞめ展受賞者
- 15 第七十五回記念中日書きぞめ展賞状授与
令和六年度第四回理事会内容（抜粋）
- 16 第七十五回記念中日書きぞめ展受賞者
- 17 第七十六回毎日書道展
当番審査員
- 18 第七十六回毎日書道展
当番審査員
- 19 第七十六回毎日書道展
当番審査員

令和六年度 第四回理事会開催

日時 令和七年一月一日（日）十三時半
会場 名古屋東急ホテル ゴシックの間

令和六年度第四回理事会が理事三十二名、監事三名の出席を得て開催されました。
松下英風副理事長の開会のことば、伊藤仙游理事長の挨拶のち議事に入りました。
令和七年度事業計画案、令和七年度予算案、特別昇格者の承認、評議員の承認、正会員の承認、中日書道展の審査会員の承認、新役員選考委員の選出に関する件につきまして、慎重審議が行われ、全会一致で承認されました。

理事会の詳細内容は、P7～13に記載



令和六年度 第一回評議員会開催

日時 令和七年一月一日（日）十五時半
会場 名古屋東急ホテル ルネッサンスの間

令和六年度評議員会が二三三名の出席を得て開催されました。岡野楠亭副理事長の開会のことば安藤滴水名譽副会長の挨拶のち伊藤仙游理事長の進行で開催されました。先に開催されましたが理事会の報告会という形で開催され、資料を基に詳細に報告されました。閉会のことばは加藤裕副理事長がされました。

引き続き、令和六年度顕彰が行われ、表彰者に花束・記念品が授与されました。

その後、「講演会」「祝賀懇談会」が開催されました。



令和六年度・顕彰表彰を開催して

褒賞部長 水野峯翠

二月二日（日）、令和六年度理事会・評議員会に続き、中日書道会顕彰表彰が、名古屋東急ホテル三階ルネッサンスの間、祝賀懇談会場ヴェルサイユの間において開催されました。

第五十六回東海テレビ文化賞をご受賞された常任顧問近藤浩平先生に名誉会長神田真秋様より花束が贈呈され、第十一回日展・会員賞をご受賞されました副理事長岡野楠亭先生には、名誉副会長安藤滴水先生より花束が贈呈されました。また、第十一回日展・名古屋展においてCBC賞ご受賞の先生には名誉会長神田真秋様より、東海テレビ賞ご受賞の先生には名誉副会長鬼頭翔雲先生から花束が、嬉しい日展初入選十三名の皆様には、記念品が贈呈されました。そして第四十回読売書法展、読売準大賞四名、読売新聞社賞二名の先生方には名譽副会長鬼頭翔雲先生より、第七十五回毎日書道展会員賞一名の先生方にからそれぞれ記念品が贈呈されました。

ご出席いただきました多くの会員の皆様からは、お祝いの大きな拍手を頂戴し、令和六年度の顕彰表彰は無事終了いたしました。



読売準大賞の先生



毎日展会員賞の先生 読売新聞社賞の先生



日展初入選者の皆様

第75回 中日書きぞめ展

出品点数 11,867点



賑う書きぞめ展会場



作品前で記念撮影

第七十五回記念中日書きぞめ展を終えて

第一教育部長 武内峰敏

初日は、あいにくの雨模様となりましたが、ストリートピアノが絶え間なく流れる会場へは、八〇〇人を越える来場者があり、盛況のうちにスタートしました。会場周辺の桜もちらほらと咲き始め開会を祝福していました。

令和七年三月十五日（土）・十六日（日）ナディアパーク二階アトリウム（矢場町）にて第七十五回記念中日書きぞめ展を開催いたしました。総出品点数一八六七点の内、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞から奨励賞までの一〇二四点の作品を展示いたしました。

十六日（日）厳粛なうちに授賞式が終わりました。その後、展示会場は賞状・商品を両手で抱えての記念撮影会で大賑わいとなり、喜びの会話と素敵なかみ笑顔が溢れていました。

また、愛知県美術館で六月開催の中日書道展に上位九十七点の作品を展示いたしました。

最後になりましたが、「書きぞめ展」にご参加ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

一宮支部創立70周年



創立70周年記念講習会



祝賀交流会神田真秋名誉会長ご祝辞



創立70周年記念展「宝の書」風景



創立70周年記念祝賀交流会風景

一宮支部創立七十周年を迎えて

一宮支部長 村 上 史 麗

令和六年度は、昭和二十九年五月十六日に一宮支部発足以来創立七十周年を迎える年となりました。初代支部長森一峰氏から十五人の支部長により継承してまいりました。

各支部長始め多くの会員の方々の弛まぬ努力により積み上げられたすばらしい伝統に心より敬意を表するものであります。

さて記念事業として十月二十七日（日）一宮市民会館にて、講師に一宮支部相談役則武 穂先生をお迎えしまして一ツキ板を使って楽しい色紙を作りましょうーを実施いたしました。支部員三十六名、会員外二十四名計六十名のご参加でした。小学生の参加もありお父さんお母さんと楽しく作成する姿がほほえましく感じました。

また十一月二十三日（土）、二十四日（日）の両日には第六十九回支部展が開催され、七十周年記念展として私の逸品「宝の書」の展示を併催いたしました。支部員の皆様が所有される師匠の書やご自身の思い出の書など三十点余りの作品を展示いたしました。懐かし

いこの度七十周年を迎えたことは本部の先生方の長年のご支援・ご指導のお陰と改めてお礼申し上げます。先輩の支部長が刊行しました一宮支部四十年の歩み・五十年の歩みのページを繰りながら、これからも一宮支部が増々発展出来ます様心より祈念したいと思います。

最後に真清田神社宮司辰守弘様に万歳三唱を行つていただき閉会となりました。

い先生方の書もあり、作品の前では清々しい空気も流れじっくりと見入る方々の姿が印象的でした。

令和七年一月二十六日（日）には支部集会・講演会に続き支部創立七十周年記念祝賀交流会を開催いたしました。

公益社団法人中部日本書道会名譽会長神田真秋様始め一宮市長中野正康様、公益社団法人中部日本書道会松下英風副理事長同じく横井宏軒副理事長等多くのご来賓の方々にお越しいただきご祝辞を賜りました。七十周年にふさわしいお言葉をいただき感謝で胸がいっぱいございました。

令和7年(2025)度 中部日本書道会 行事予定表「4月~9月」

※実施予定日が決まっている行事を掲載しました。

※行事が変更になる場合がありますので、事前の案内でご確認下さい。

月	日	曜	本 部	支 部
4 月	17 木	中日展書類搬入（本部）		「支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会・学生（学童）書展」
5 月	1 木	中日会報215号発送（予定）		
	8 木	中日展裏打ち作品搬入（電気文化会館）		
	9 金	中日展二科審査（一部）（電気文化会館）		
	10 土	中日展一科審査（一部）（二部～五部は、一科審査・二科審査）（電気文化会館）		
	11 日	中日展特別賞選考（電気文化会館）	中日展裏打ち作品搬出（電気文化会館）	
6 月	8 日	中日展授賞式・祝賀会・総会（予定）		
	16 月		中日展作品搬入・陳列 (名古屋市民ギャラリー栄)	
	17 火	中日展作品搬入・陳列 第1期 (愛知県美術館ギャラリー)	中日展 二科作品（1部～5部）	
	18 水	中日展 第1期 審査顧問から依嘱作品	〃	
	19 木	〃	〃	
	20 金	〃	〃	
	21 土	〃	〃	
	22 日	〃 (作品搬出)	〃 (作品搬出)	
	23 月			
	24 火	中日展作品搬入・陳列 第2期 (愛知県美術館ギャラリー)		
	25 水	中日展 第2期 無鑑査・一科・二科賞 作品		
	26 木	〃		
	27 金	〃		
	28 土	〃		
	29 日	〃 (作品搬出)		
7 月	1 火	中日展 第2期作品搬出②		
	4 金			第58回西三河支部学生書道展 (岡崎市美術館)
	5 土			〃
	6 日			〃
	8 火			第48回東三河支部展 (豊橋市美術博物館)
	9 水			〃
	10 木			〃
	11 金		第38回北勢支部展 (四日市市文化会館)	〃
	12 土		〃 一宮支部第52回七夕まつり学 生書道展・第31回七夕まつり 選抜作品展 (一宮スポーツ文化センター)	〃 東三河支部集会・講演会
	13 日		北勢支部展・支部集会・講演 会 一宮支部第52回七夕まつり学 生書道展・第31回七夕まつり 選抜作品展 (一宮スポーツ文化センター)	〃
	20 日		第2回半田支部学生展 (瀧上工業雁宿ホール)	
	21 月		〃	
8 月	1 金		第38回濃飛支部展 (恵那文化センター)	
	2 土		〃	
	3 日		〃 濃飛支部集会・交流会	
	17 日		第10回半田支部公開書道研修 会（瀧上工業雁宿ホール）	
9 月	26 金		第29回岐阜支部展 (岐阜市民会館)	
	27 土		〃	
	28 日		〃	

第2号議案 令和7年度予算(案)に関する件 (1) 収支予算書

支予書算令和7年度収支予算書(案)令和7年4月1日至令和8年3月31日

支 部 別 内 訳		一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 理事会費	15,000	5,000	20,000	5,000	0	5,000	5,000	52,000	20,000	75,000
2 評議員參會費	440,000	120,000	336,000	116,000	24,000	124,000	92,000	384,000	1,636,000	
3 正會員會費	880,000	196,000	556,000	196,000	40,000	184,000	120,000	592,000	2,768,000	
4 運用員會費	60,000	70,000	100,000	37,500	2,500	27,500	10,000	45,000	352,500	
5 合 計	1,395,000	391,000	1,012,000	354,500	66,500	344,500	227,000	1,041,000	4,831,500	
支 部 別 内 訳		一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部収入	800,000	511,000	700,000	905,000	59,000	240,000	300,000	480,000	3,995,000	
2 支部学生収入	1,320,000	760,000	1,728,000	42,000	0	0	0	0	3,850,000	
3 支部運修費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4 支部講習會収入	120,000	300,000	0	280,000	0	390,000	360,000	120,000	1,570,000	
5 支部交流会収入	0	0	0	60,000	0	0	0	0	60,000	
6 支部金収入	800,000	300,000	0	0	62,000	150,000	160,000	480,000	1,952,000	
7 貸租金収入	95,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000	
8 合 計	3,135,000	1,871,000	2,428,000	1,287,000	121,000	780,000	820,000	1,080,000	11,522,000	

日 会 輯

中日展収入内訳		令和1年度予算額(A)	令和6年度予算額(B)	増 減	説 明
審査員以上出品料	15,885,000	16,245,000	△ 390,000	150,000円×1057点	
依頼 無鑑査出品料	10,062,000	10,660,000	△ 598,000	130,000円×774点	
一科出品料	5,100,000	5,400,000	△ 300,000	100,000円×510点	
二科出品料	3,592,000	3,760,000	△ 168,000	80,000円×439点	
若年出品料	4,319,000	4,200,000	- 119,000	70,000円×617点	
人場料	234,000	195,000	- 39,000	300円×780名	
入賞料	46,500	60,000	△ 13,500	500円×93部	
社企告白料	1,760,000	1,840,000	△ 80,000	40,000円×144件	
協賛店広告料	665,000	735,000	△ 70,000	35,000円×19件	
合 計	41,633,500	43,095,000	△ 1,461,500		
事業別内訳		令和1年度予算額(A)	令和6年度予算額(B)	増 減	説 明
講演会費	1,075,750	1,099,000	△ 23,250	支部は支部別内訳参照	
寿書展費	1,540,000	1,540,000	0		
支部講習会費	112,500	118,500	△ 6,000	支部別内訳参照	
支部研究会費	121,500	122,000	△ 1,000	支部別内訳参照	
支部修習会費	1,901,500	2,113,500	△ 212,000	支部別内訳参照	
支部選抜展費	0	0	0	支部別内訳参照	
支部学生展費	4,365,000	4,774,500	△ 409,500	支部別内訳参照	
支部展費	3,132,000	3,039,500	- 92,500	支部別内訳参照	
色紙展費	0	0	0	支部別内訳参照	
書道振興事業費	350,000	350,000	0	一宮	
書道教育研修費	325,000	325,000	0		
外研修補助費	50,000	50,000	0		
功労者等顕彰費	110,000	110,000	0		
書道教育者養成費	50,000	50,000	0	教室看板	
塾総合保険事業費	200,000	200,000	0		
史跡探訪費	0	0	0		
書道普及事業費	1,404,000	1,772,000	△ 368,000	企画委員会	
周年記念事業費	700,000	500,000	- △ 4,300,000	半田支部	
情報提供事業	45,000	45,000	0	#イト運営	
調査研究費	8,000	8,000	0		
資料収集費	63,000	63,000	0		
公開講座費	207,000	207,000	0		
中日展費	24,934,230	26,129,370	△ 1,195,140		
中日書道祭りの展費	4,556,000	5,102,000	△ 546,000		
手書き年賀状費	180,000	160,000	- 20,000		
愛の募金費	3,340,000	3,374,000	△ 34,000		
会員交換会	290,000	290,000	0		
本部祝賀会	11,000,000	11,000,000	0		
支部交流会費	1,952,000	2,124,500	△ 172,500	支部別内訳参照	

(2) 正味財産増減予算書

令和7年度 正味財産増減予算書（案）

自 命和 7 年 4 月 1 日
至 命和 8 年 3 月 31 日

Ⅲ	正味財産期末残高	98,709,459	102,973,140	△ 4,263,681
Ⅱ	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	当期指定正味財産期末残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅰ	経常外増減の部			
	経常外収益	0	0	0
	(2) 経常外費用	0	0	0
	当期経常外費用	0	0	0
	当期正味財産増減額	1,849,140	△ 1,202,450	3,051,590
	一般正味財産期末残高	96,860,319	104,175,590	△ 7,315,271
	指定正味財産増減の部	98,709,459	102,973,140	△ 4,263,681
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	当期指定正味財産期末残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

上　木　久　庄　吉　誠　J　昇　昌
(損益計算ベースかつ事業別に区分したもの)
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

損益計算ベースかつ事業別に区分したもの)は、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益社団法人 中部日本書道会

(単位 円)

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

事業 年度	自 至	令和7年4月1日 令和8年3月31日	法人コード 法人名	A002493 公益社団法人中部日本書道会
----------	--------	-----------------------	--------------	--------------------------

資金調達及び設備投資の見込みについて

当期中ににおける借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

**令和六年度
第四回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認**

第三号議案

特別昇格者の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款

第五条一により、下記の者を依嘱

特別昇格者としての承認を求める。

この承認は令和七年四月一日付ける。

第二部 (二名)

上村 寿子 吉田 裕子

第四号議案

評議員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会運営

規定第五条の二により下記の者に

評議員としての承認を求める。

この委嘱は令和七年四月一日付ける。

第一部 (三十九名)

浅野 摺草 安藤 範香

石川 加翠 伊藤 風珠

伊藤 蘭徑 朝景 内山 雅舟

梶川 長船 伊藤 純香

久米 静景 佐藤 勝也

桂華 静景 田中 長尾

永井 昌寛 田中 長尾

中村 桂華 田中 桂華

橋本 佳静 長谷川 緑光

林 華香 菱田 萬峰

平野 煙藍 藤井 秀堂

山本 祥仙 松浦 華雪

山本 祥仙 松浦 華雪

山本 祥仙 松永 翠峻

第一部 (八十八名)

石川 佳翠 伊東 彩楓

伊藤 山田 稲葉 碧陽

内田 翠澄 岩根 桂月

大久保 寧音 大谷 祥雨

大橋 美泉 大橋 美泉

大橋 美泉 大島 千可子

堀内 孝代 水野 乃愛

三井 和子 三井 宮永

美濃部 純 宮島 紅雅

吉田 望樹 安江 桂風

吉田 游舟 山崎咲也香

吉田 桃風 宮崎咲也香

吉田 陶染 宮崎咲也香

水野 幸代 堀内 広浦

三井 須寿 堀内 志津

美濃部 純 堀内 昭江

吉田 照子 堀内 心那

吉田 淳子 堀内 蘭仙

吉田 有子 堀内 前川

吉田 祥紅 堀内 前川

花田 圭 堀内 春美

柳澤 志津 堀内 菜々美

横井 志津 堀内 青霞

前田 敏子 堀内 真生

前田 心那 堀内 真生

前田 照子 堀内 真生

星野 こころ 原 碧茜

原 尚美 福士 碧茜

原 碧茜 福士 碧茜

星野 こころ 原 碧茜

原 碧茜 福士 碧茜

佐々木 雅風 佐々木 雅風

鈴木 雲峰 鈴木 雲峰

樋口 春美 樋口 利津子

樋口 利津子 樋口 利津子

樋口 利津子 樋口 利津子

樋口 利津子 横田 心那

第五部	新井ひろ子 (二名)	柴田真由美	栗木 近藤 伊藤紅彩 富永飛燕
第四部	新井ひろ子 香志	水野 辻裏	岡 小鳩
第三部	横地	佳泉 吟香	蘭香 恭葩
第二部	千葉 関村	弘子 佐藤	典子 聖園
第一部	九野 松田	伊藤 都筑	秀理 華雪
	横地	佐藤 榎田	祥仙 富華
	千葉 関村	松田 都筑	秀堂 華香
	九野 松田	伊藤 榎田	煌藍 桂華
	横地	佐藤 榎田	佳靜 桂華
	千葉 関村	松田 都筑	長谷川綠光 田中
	九野 松田	伊藤 榎田	野田 長尾
	横地	佐藤 榎田	菱田 秀堂
	千葉 関村	松田 都筑	平野 秀堂
	九野 松田	伊藤 榎田	野田 秀麗
	横地	佐藤 榎田	萬峰 吉華
	千葉 関村	松田 都筑	桃瑠 翠峻
	九野 松田	伊藤 榎田	昌寛 翔山
	横地	佐藤 榎田	高瀬 鈴木
	千葉 関村	松田 都筑	永井 中村
	九野 松田	伊藤 榎田	中村 橋本
	横地	佐藤 榎田	高瀬 永井
	千葉 関村	松田 都筑	翔山 光華
	九野 松田	伊藤 榎田	鈴木 峻岳
	横地	佐藤 榎田	佐藤 久米
	千葉 関村	松田 都筑	鈴木 雪葉
	九野 松田	伊藤 榎田	光華 峻岳

第75回記念 中日書きぞめ展賞状授与

授賞式 令和7年3月16日(日) 14時～15時半 会場 ナディアパーク3階 デザインホール

令和七年三月十六日（日）ナディアパーク三階
デザインホールにて第七十五回記念中日書きぞめ
展授賞式を挙行致しました。

事前に葉書にて出欠を提出していただき、受賞
者の方は指定席といたしました。また、本年も同伴
者の方は二名までの入場とさせていただき、授賞
式には立ち見の方もなく定員の五〇〇名近い方が
着席し、受賞を喜び、讃えあうことができました。

式典は、来賓に本会役員の先生方にご臨席を賜
り、次第に沿つて、伊藤仙游理事長のご挨拶、第一
教育部长の審査総評があり、その後、厳かに肃々
と授与を行い無事終了いたしました。最後に、衆
議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞の
三名の方と本会理事長、副理事長の方々と共に記
念写真を撮りました。今回は名古屋市内でのマラ
ソンの日を回避したことにより、受賞者の方も余
裕を持って受付を済ませられ、予定通り開式するこ
とができました。ご出席いただきました受賞者及
び同伴者の方々のご協力に感謝申し上げます。ま
た、ご指導ご協力いただきました指導者の先生方
に厚く御礼申し上げます。

次年度も本年と同時期に開催する予定でござい
ます。本年同様、多数のご出品をお願い申し上げ
ます。



上位當入當者



嘗試操作

授賞式を終えて

第75回記念 中日書きぞめ展受賞の喜び

衆議院議長賞を受賞して

中京大学附属中京高等学校 一年 清水ひなた

参議院議長賞を受賞して

愛知県立旭丘高等学校 一年 鈴木真理江

文部科学大臣賞を受賞して

名古屋市立大高中学校 二年 豊島 愛生

この度は、第七
十五回中日書きぞ
め展に於きました

て、「衆議院議長
賞」という大変名
誉ある賞を頂き、誠
にありがとうございます。

受賞の知らせを聞いた時
は、驚きとともに
とても嬉しい気持
ちでいっぱいにな

りました。いつもご指導くださっている書道教室の
先生、高校書道部の先生に感謝申し上げます。
私は小学二年生の時から書道を始めましたが、先
生はいつも私の字を褒めてください、こうするとよ
り良くなるという助言を丁寧にしてくださるので、
これまで書道を楽しみながら続けることができてい
ます。小学生の時に同じ教室の中高生に憧れ、いつ
か自分もこんな風に上手な字を書けるようになりた
いと思いながら頑張ってきました。高校生になり、
古典の作品にふれる中、色々な書風を目にして、書道
の奥深さに一層魅了されるようになりました。

今後も日々「書」を楽しみながら、精進していく
たいと思います。

寒夜繡簾人送酒小
樓銀燭客提壺
ひなたふ

藏家麻作銀鑑魏
靈河東薛 真理江

至誠動天地
中二 豊島 愛生

この度は参議院
議長賞という栄誉
ある賞に選んで頂
き、ありがとうございます。

以前から
憧れていたのも
あって、受賞を

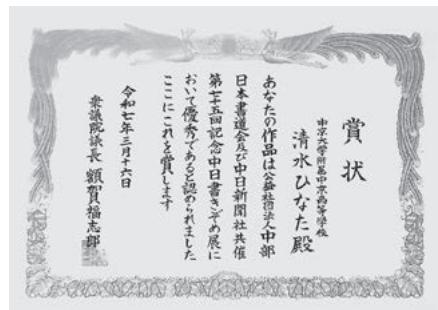
知った時には感激
で胸がいっぱいに
なりました。

今回の作品でとりわけ意識したのが「力強さ」で
す。かすれやにじみ、筆を動かす手の速さなど、自分
なりに試行錯誤しながら作品づくりに励みました。
改善すべき点を的確にご指導ください、今回の受賞
まで導いてくださった先生には、心から感謝申し上
げます。また、作品づくりの中で、わずかながらも
自分の成長を感じられたときには本当に嬉しく、書
を好きな気持ちが一層強くなりました。

この受賞を励みに、今後も書と真摯に向き合い、
日々向上していくように精進していきたいと思いま
す。

今回の作品は「至誠動天地」です。誠実な態度は
天地をも動かすという意味だそうです。私は、この
作品を書いていく上で、見た人に迫力を届けられる
ような力強い線、勢いのある字を書くことを意識し
ました。線と線の繋ぎや個々の字としてだけでは
なく、全体を見た場合の中心の取り方に気を配り
ました。難しいこともありましたが、諦めずに努力
をしたことが今回の受賞に結びついたと思います。
それがまさに「至誠動天地」の意味と似ていて、達
成感がより増しました。

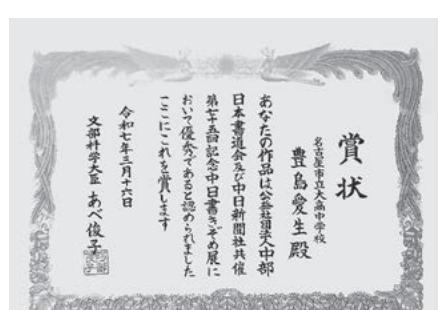
これからも、見る人に迫力を与えられる力強い字
を書けるよう、自分らしく努力していきたいです。



賞状



賞状



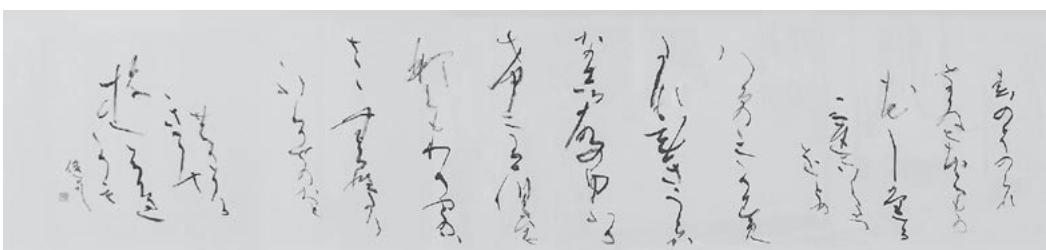
賞状

第11回日展 名古屋展 愛知県知事賞・CBC賞・中日新聞社賞・東海テレビ賞受賞者

愛知県知事賞・中日新聞社賞を受賞して



愛知県知事賞
中日新聞社賞
塚田俊可



この度の日展名古屋展で立派な賞を頂戴し有難うございました。思いがけない受賞で、身のひきしまる思いと責任を痛感いたしております。

古典の勉強は関戸本古今集や高野切一種、三種を皆がしている時に、私は初めての古典に継色紙をえらびました。歌一首を横形式で

書く継色紙に魅了され、臨書、倣書をくりかえしくりかえし書きました。横形式の作品に漢字の要素を加え、字の大小で山場づくり、など作品づくりに励ん

でまいりました。動の中に静を、清らかな書を書きたいと願っています。日々修行——これからもよろしくお願い申上げます。ありがとうございました。

CBC賞を受賞して



CBC賞
加藤紫雲

この度は第十一回日展名古屋展二〇二五に於きましてCBC賞を賜り誠にありがとうございました。思いもよらぬ朗報に驚きと喜び実感する迄に幾分の



にして感謝の気持ちと初心を忘れずより一層努力研鑽を重ね精進する所存です。今後共何卒宜しくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

東海テレビ賞を受賞して



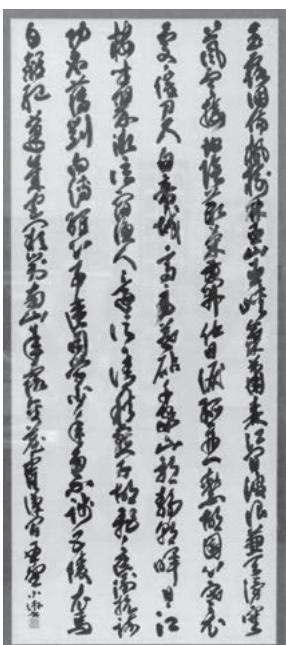
東海テレビ賞
伊藤小游

この度は第十一回日展名古屋展におきまして思いがけず東海テレビ賞を賜り、驚きと共に身に余る光栄に感謝の気持ちで一杯でございます。これも偏に師の力のこもったご指導諸先生方のご指導ご高配のお蔭と、心より感謝申し上げます。又、これまで書を続けてこられたのも支え続けてくれた家族の協力のお蔭であると感謝しております。

今回は二尺×二・六尺の用紙に六行という多数字に取り組みました。墨量と行間・余白の美しさ、力強さ等、留意すべき点や研鑽すべき点が数多くあります。

今回の受賞を励みに一層気を引き締めて精進して参る所存でございます。

深い感謝を申し上げると共に一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申上げます。



時を要しました。過分な榮誉に身の引き締まる思いでございます。幸運に恵まれご縁有つて師匠に出逢い三十年東京のご自宅に月二回お稽古に通わさせて頂き熱心なご指導のお陰と心より深く感謝しております。師匠の作品とお人柄が大変魅力的で凄く尊敬しております。いつもですが今回の出品作品も師匠が常日頃言われる三極化でもやり過ぎない様に心掛け制作しました。まだまだ未熟で不器用な私ですが支えて下さる諸先生方諸先輩方すべての皆様に心より御禮申し上げます。引き続き古典と師匠の書風と人柄を一生懸命臨書してまいりたいと思つております。これからもこの賞を励みにして感謝の気持ちと初心を忘れずより一層努力研鑽を重ね精進する所存です。今後共何卒宜しくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

塾総合保険のご案内

本会では、書道塾を経営されている会員の先生方のバックアップと、塾生の安全と安心のために「塾総合保険」を行っております。

生徒一名に付年額一四〇円で大きな保障となつております。年度途中での加入もできます。保険期間は、その年の十月一日から翌年十月一日までとなります。この保険は、本会と保険会社が直接契約しているものであるため、少人数でのご加入ができ、有利な条件となっています。事故はいつ起こるかわかりません。生徒さんの安心と安全のために是非ご加入ください。又既に加入されている皆さんは十月一日が期限ですから、忘れずにつり更新を行って下さい。

資料請求、申し込みは本部まで。

補償内容			
賠償事故	塾経営者	対人賠償てん補限度額	1名 2,000万円 1事故 1億円
		対物賠償てん補限度額	1事故 100万円
生徒 法定監督義務者		賠償責任てん補限度額	1事故 2,000万円
傷害事故	死亡・後遺障害保険金額	100万円	
	入院保険金日額	1,000円	
	通院保険金日額	500円	
保険料(生徒1名につき年額)		140円	

(注) 賠償事故の場合、1事故につき1,000円を自己負担していただきます。生徒の賠償責任てん補限度額は、対人、対物賠償合わせて1事故のみの適用となります。

訂正とお詫び

会報二一四号、第十一回日展入選者掲載の太田美楓先生は初入選でした。お詫びして訂正いたします。

052 (583) 1900
住所変更、改姓、改号、社中変更等

新年度がスタートしました。
令和六年度会費未納の方は、至急お納め下さい。
(正会員及び準会員の方で未納の方)
本部会員は、郵便振替 00890-6-14420。
支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

会費未納の方にお願い

事後報告	○6年11月15日	評議員	太田 朴仙氏	享年 83
○1月9日	評議員	菅沼 貴香氏	享年 86	
○1月17日	評議員	菅沼 武彦様	享年 86	
○1月19日	顧問	関戸 彩乃様	享年 33	
○1月	評議員	佐藤 海越氏	享年 78	
○1月27日	顧問	渡辺 美津子様	享年 98	
○2月8日	評議員	堀場 国南氏	享年 98	
○2月14日	顧問	龟山 雪峰氏	享年 83	
○2月14日	評議員	平田 文子様	享年 83	
○2月14日	顧問	蘭石氏	享年 83	

社中展・個展のご案内

○第三十九回 書法研究 吉祥展

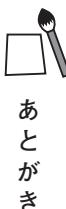
会長 岡本 桃香
会期 令和七年八月二十九日(金)～三十一日(日)
会場 安城市民ギャラリー 一階A B展示室

本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。

会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、十月中旬～一月初旬開催の展覧会となります。お申し込みは、八月二十日までに本部までお願いします。

会報発行回数の変更に伴う掲載期日・申し込み月変更にご注意ください !!

編集部



あとがき



あとがき

中日会報一一五号をお届け致します。

本号では、令和六年度理事・評議員会、顕彰、講演会、祝賀懇談会、書きぞめ展等のご報告を

させて頂きました。昨年度は多くの先生方が、ご受賞の栄に浴されましたことは、中日書道会の書における多面性や多彩さ、先生方の実力の高さの表れであったかと思います。また、書きぞめ展での若い方々の活躍も、素晴らしい頼もしく感じました。多くの学生の方々が中日書道会へ入会いただき、書道を続け、書道文化の伝統を継承する一助になつていただければ幸いかと思います。

中日書道会で初めて支部として設立されました一宮支部が、創立七十周年を迎えました。一步の歩みの積み重ねがここにもございました。各支部先生方の地道な事業運営も宜しくお願ひいたします。

編集部

支部だより（令和六年度 下半期）

半田支部

◎研修バス旅行「豊橋筆の工房を訪ねて」

令和六年十一月十七日、参加者十七名（一般参加四名を含む）

近年は現地集合にて開催していましたが本年は当初計画通り「バス旅行」として実施することが出来ました。小型バスに揺られながら車内では参加者の懇親が深められ、工房にて実際に作業を見学することが出来ました。バスを利用してことで時間を有効に使え、とても有意義な研修旅行になりました。



豊橋筆工房



支部展



学生展



学生展カレンダー書き



講演会

- 第五十二回一宮支部創立70周年記念祝賀交流会
会場 一宮商工会議所
参加者 (来賓十九名、会員六八名)
- 支部講演会
会場 半田市福祉文化会館 (六十八点展示)
講師 愛知東邦大学客員教授 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
- 支部集会・講演会等
会場 半田市福祉文化会館
参加者 四十名参加
講師 半田市博物館館長 関正樹様
講演会 三十名（一般参加あり）
支部名譽顧問および横井副理事長、村瀬理事にご臨席いただきました。
議案は全て承認されました。

文化財とは、先祖が長い時間をかけて守り伝えてきた貴重な文化の財産。過去から未来への「贈り物」であり、「宝物」（資料より）指定文化財はコミュニティが中心となつて守り、後世に伝えなければいけないという使命を感じました。



支部展集合写真

- 第五十九回一宮支部展
会場 一宮市民会館
出品者 支部員 一五五名
青年部 個人一名 二団体
第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示了しました。また、支部相談役の玉則武穹先生にギャラリートークをしていただきました。
- 研修会
会場 一宮市民会館
参加者 六十名（内、会員外二十四名）
「ツキ板を使って楽しい色紙を作りましょう」
一宮支部相談役則武穹先生を講師にお迎えし、ツキ板を使用した色紙を作成しました。参加者各自が、好きな文字を書き、自由にツキ板で装飾して素敵な作品に仕上げました。
- 第六十九回一宮支部展
会場 一宮スポーツ文化センター
出展品 支部員 一五五名
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
青年部 個人一名 二団体
第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示了しました。また、支部相談役の玉則武穹先生にギャラリートークをしていました。
- 支部創立70周年記念展
会場 一宮商工会議所
出席者 八十三名
本部より副理事長松下英風先生、同横井宏軒先生にご臨席賜り、令和六年度事業報告と令和六年度収支決算書、並びに令和七年度事業計画案が承認されました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 愛知東邦大学客員教授 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部集会
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数

- 第五十二回一宮支部学生書道展
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
青年部 個人一名 二団体
第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示了しました。また、支部相談役の玉則武穹先生にギャラリートークをしていました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 愛知東邦大学客員教授 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部集会
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数

- 第五十二回一宮支部学生書道展
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
青年部 個人一名 二団体
第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示了しました。また、支部相談役の玉則武穹先生にギャラリートークをしていました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 愛知東邦大学客員教授 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部集会
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数

- 第五十二回一宮支部学生書道展
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
会場 一宮スポート文化センター
出展品 支部員 一五五名
青年部 個人一名 二団体
第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示了しました。また、支部相談役の玉則武穹先生にギャラリートークをしていました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 愛知東邦大学客員教授 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部講演会
会場 一宮商工会議所
講師 増田 孝先生
演題 「本阿弥光悦の書の魅力」
講師の先生が所蔵している実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をしていただきました。
- 支部集会
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数
会場 一宮商工会議所
参加者 二七九五点
総出品点数

濃飛支部

●研修旅行



郡上八幡城址へ行く

濃飛支部の年間行事の一つである研修旅行。十一月二十四日、今年は郡上八幡城跡巡り、行事の一環として実施。郡上八幡城跡は東海北陸道を車窓からチラッと眺める事はありましたが行つたのは初めてでした。

市川観光さんにお願いし、岩村一武並



立派な山城に紅葉が映えて絶景なり、多くの人がスマホを翳していました。

下呂と乗車し郡上市へ。丁度天候に恵まれ私としては初めての下呂から郡上市への道、キヨロキヨロ眺め乍ら行きました。秋

が出来有難うございました。

晴れで大勢の観光客で賑わっていました。

ドラマ「功名が辻」（主演、仲間由紀恵さん）で一豊と千代の物語。千代が嫁いだ時

の持参金で夫に馬を買ひ与えた事等かすかに思い出しました。当時は漠然と観ていた

現場が「ここだつたんだ…」と思いを巡らせました。

立派な山城に紅葉が映えて絶景なり、多くの人がスマホを翳していました。

参加者が少なく残念でしたが挙行出来てよかったです。少人数の支部なれど行事を遂行し見聞を広げ切磋琢磨して頑張つてゆき度いです。親切な運転手さんで楽しい旅



研修会 石山寺

北勢支部

●研修会

日 時 十一月十七日（日）

行 先 石山寺・源氏物語ミュージアム

など

参加者 二十二名

桑名駅からバスは出発、土山サービスエリアで休憩、二十二名の自己紹介を終え、紅葉の車窓を楽しみながら石山寺に到着。

寺名の由来である硅石灰の大きな岩の前で記念撮影をし、それぞれが奈良時代に建立された本堂、美しい紅葉の庭を散策した。

国宝の多宝寺等は古人の偉大さをしみじみ感じる歴史深い所であった。寺に隣接した「洗心寮」で昼食、とても優しいおいしい料理でした。宇治の源氏物語ミュージアムでは、大河ドラマで今人気の所、屏風に残る

平安時代の仮名書や歌に感動し、今も残る墨の美しさに見入った。日本の平和に感謝し、帰路に。天気にも恵まれ渋滞もなく、楽しい充実した一日でした。

北勢支部

●講習会

日 時 二月二十四日（月・振替休日）

会 場 四日市市文化会館第四ホールA

参加者 二十七名

自分の書いた書を飾り、バラエティで華や

ミニ屏風を作る手ほどきを受け、そこに

自分の書いた書を飾り、バラエティで華やかな作品制作を目指すことをねらいに講習を進めた。しかし実際には屏風を作ることで時間的に精一杯で、作品揮毫は自宅に戻つてする事になった。屏風はA5サイズ程度の二曲屏風で、縦にも横にも開き展示の工夫が広がるものである。次の支部展で展示を楽しみにしたい。



講習会 ミニ屏風作り

中南勢支部

第三十七回中南勢支部展



講演会



支部研修会



研修旅行「木曽川昼鵜飼」



講演会

●第三十七回中南勢支部展

会期 十月十六日（水）～二十日（日）

会場 三重県立美術館県民ギャラリー

出品点数 七十三点（賛助出品含む）

入場者数 四二〇名

本部から名誉副会長鬼頭翔雲先生の作品をはじめ理事長、副理事長先生の作品を贊助出品していただき三十七回の支部展を開催いたしました。遠方よりご来場いただいた方、また子供たちの作品も併せて展示しましたのでご家族揃ってご来場していただきました。

参加型講演会が行われました。「高砂」「融」「砧」「人間五十年」の謡を先生のお手本に続き、皆で声を出し一通り歌うことができました。先生は津市の方で、各地で公演されています。

●支部研修会

日時 十一月十七日（日）

場所 滋賀觀峰館・石山寺紫式部展

先ず觀峰館では常設の展示はもちろんのこと『近江ゆかりの書画』、特に清代の金農・楊峴・何紹基の作品も鑑賞することができました。紫式部展では紫式部と源氏物語の背景を知ることができました。昼食場所で北勢支部の皆さんと出会うことができました。

本部より第一經理部長磯谷凜聰先生・編集部長林柏堂先生のご臨席を賜り六年度事業報告、収支決算報告、七年度事業計画案、予

◎集会
日時 十月十九日（土）二時半
会場 同美術館講堂
出席者数 四十名

本部より第一經理部長磯谷凜聰先生・編集部長林柏堂先生のご臨席を賜り六年度事業報告、収支決算報告、七年度事業計画案、予

算案を報告し承認されました。

●講演会

講師 能樂協会名古屋支部理事 長田 郷先生

演題 「能について」

支部集会に引き続き、同美術館講堂にて「砧」「人間五十年」の謡を先生のお手本に続き、皆で声を出し一通り歌うことができました。先生は津市の方で、各地で公演されています。

●岐阜支部事務局会議
第四回 令和六年十月九日（水）より五回、六回、第七回と支部事務局全体会議、講演会、研修旅行、支部報についての協議を重ねた。
・講演会 参加者 五十四名

●事務局全体会議、講演会、講師を囲む会
日時 令和七年一月二十四日（月・祝）
会場 岐阜キヤツスルイン
・事務局全体会議 午前十時半～無事終了
・講演会 参加者 五十四名

岐 阜 支 部

く。参加者は大変満足をされた様です。

●事務局全体会議、講演会、講師を囲む会

日時 令和七年一月二十四日（月・祝）
会場 岐阜キヤツスルイン

本部よりご来賓として理事長伊藤仙游先生をお迎えし、ご挨拶を賜わりました。その後講師松下英風先生の講演となり、

最初にご自分の書との関係性、父親であり師匠の松下芝堂先生の書歴。師匠としての付き合い方等を話されました。

次に淡墨を磨られ筆をとりゆっくり線を引き、その微妙な筆の動き、軌道を詳細に説明されて一同見見入っておりました。続いて何枚も二字句を揮毫されて大層充実した時間を過ごしました。

会場を変えた「講師を囲む会」も先生のお話の事等、盛況のうちに閉会しました。